

## 功勞調書

一、略歴

(職名)	元 尾鷲市教育委員会教育長	(氏名)	二村 直司
------	---------------	------	-------

平成二十四年十月十一日	尾鷲市教育委員会教育委員に就任	(平成二十八年十月十日退任)
平成二十四年十月十一日	尾鷲市教育委員会教育長に就任	(平成二十八年十月十日退任)
平成二十八年十月十一日	尾鷲市教育委員会教育長に就任	(令和元年十月十日退任)

## 二、功勞の内容

- (一) 尾鷲市教育ビジョンの策定  
平成二十五年、今後十年間の尾鷲市の教育のあるべき姿を描く「尾鷲市教育ビジョン」の策定に尽力した。  
また、教育を取り巻く環境の変化による課題に対して、平成三十年に「尾鷲市教育ビジョン」の後期推進計画を策定し、一人ひとりの確かな学びと豊かな育ちを保障する教育を進め、学力・体力・生活力・文化力の向上を図る「教育の魅力化」に取り組んだ。
- (二) ふるさと「共育フェスティバル」の実施  
子ども、若者、市民が集い、豊かに学び合う世代間交流を通して、地域におけるつながりの再生・生きがいの向上を図ることを目的に、平成二十五年から実施の「共育フェスティバル」に向けて尽力した。
- (三) 尾鷲市教育大綱策定  
平成二十七年に尾鷲市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱である「尾鷲市教育大綱」の策定に尽力するとともに、平成三十年に新たに地域コミュニティの活性化やつながりの再生のため、教育が果たす役割を位置づけた「尾鷲市教育大綱」の改定に多大な貢献を果たした。

- (四) 学校教育、社会教育、文化財の保護顕彰への貢献

豊かな知識と経験をもって、東紀州地域の子どもたちに「おもしろ理科教室」「サイエンステクノロジー講座」「化石発掘調査隊」や、市民に向けた公民館での講座の講師を精力的に努めた。

また、市文化財調査委員として、須賀利地区の地質調査に関わり、国の天然記念物の指定に尽力するなど、教育行政に多大な貢献をした。

## 功勞調書

(職名) 元 大紀町教育委員会教育委員

(氏名) 清水 徹

### 一、略歴

平成二十一年四月一日 大紀町教育委員会教育委員に就任 (令和二年三月三十一日退任)  
平成二十八年四月一日 大紀町教育委員会教育委員長職務代理者に就任 (平成二十九年三月三十一日退任)  
平成三十年四月一日 大紀町教育委員会教育長職務代理者に就任 (平成三十一年三月三十一日退任)

### 二、功勞の内容

- (一)平成二十一年四月から令和二年三月までの永きにわたり、大紀町教育委員会教育委員として教育行政の発展に尽力し、卓越した見識と確固たる教育理念を持って、学校教育・社会教育の振興、地域文化の向上に多大な貢献をされた。
- (二)平成二十一年四月に統合により開校した大紀小学校、大紀中学校が抱える各地域の格差などの課題について、学校と共に考え、情報共有しながら問題提起や改善策の提案を積極的に行った。
- (三)平成二十二年から平成二十四年にかけて、老朽化が進んだ給食室の整備を推進するとともに、平成二十六年に各小中学校六校の各教室に空調設備の設置を行い、教育環境の整備に尽力した。
- (四)学校教育の分野では地元学として、学校と保護者・地域住民の方々と協働し、漁業・畜産業等の地元産業を通して体験型学習を実施、地域の特性を生かした「特色のある教育」を展開し、一人一人の個性と可能性を伸ばす教育を推進した。
- (五)児童・生徒及び教職員が、地震・津波・風水害等の災害から命を守る力を身につけるため、防災マップづくり等の体験型防災学習や避難訓練を実施し、学校における防災教育を推進した。
- (六)生涯学習分野においては、地域に密着した公民館活動を推進し、「一町民一文化」を目指す取り組みに貢献するとともに、公民館の講座に必要な講師やリーダーの育成に尽力した。